

指定国立大学法人大阪大学  
令和元年度国立大学改革強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）



# 大阪大学の強みを活かした 「知」と「人材」と「資金」 の好循環システムの基盤構築



OSAKA UNIVERSITY

大学経営統括理事 金田 安史

令和3年11月30日（火）

# 大阪大学の活動の基本方針

## OUエコシステムをエンジンとした経営改革

「知」「人材」「資金」の好循環システムの基盤を構築

基礎研究の深化や新研究領域の開拓

研究現場

- 自由な発想に基づく基礎研究の蓄積

社会課題から研究現場への還元



社会課題

- SDGsに代表される環境・エネルギー、感染症、疾患の脅威など、複雑化する社会課題
- 研究成果を社会実装することによって初めて新たな課題が明らかになる。

OUエコシステム  
(研究開発エコシステム)



社会

- イノベーションによる社会貢献
- 人類の幸福と社会の持続的成長に貢献、心豊かな社会の構築

研究成果



「共創」によって生まれる研究成果の社会実装

# 世界トップレベルの研究力強化

## 取組 重点3分野への集中投資

優秀な若手PIの雇用

実験機器等の研究環境整備

研究戦略立案を行うURA

重点支援

- 生命医科学融合  
フロンティア分野
- 共生知能システム分野
- 量子情報・量子生命分野



## 成果

新たな世界トップレベル研究拠点を形成

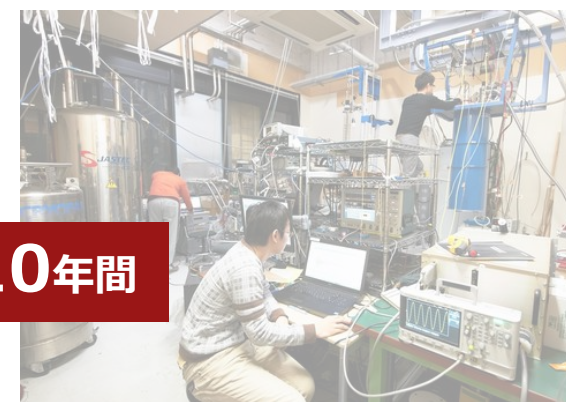
量子情報・量子生命研究センター (2021年4月設置)

▶ 本学免疫学フロンティア研究センターに次ぎ学内 **2例目**

▶ 世界で最大規模 (**70名規模**) の研究者が本学に結集

▶ JST「共創の場形成支援プログラム」採択 **4億円×10年間**

▶ 文部科学省「Q-LEAP」採択 **2.5億円×10年間**

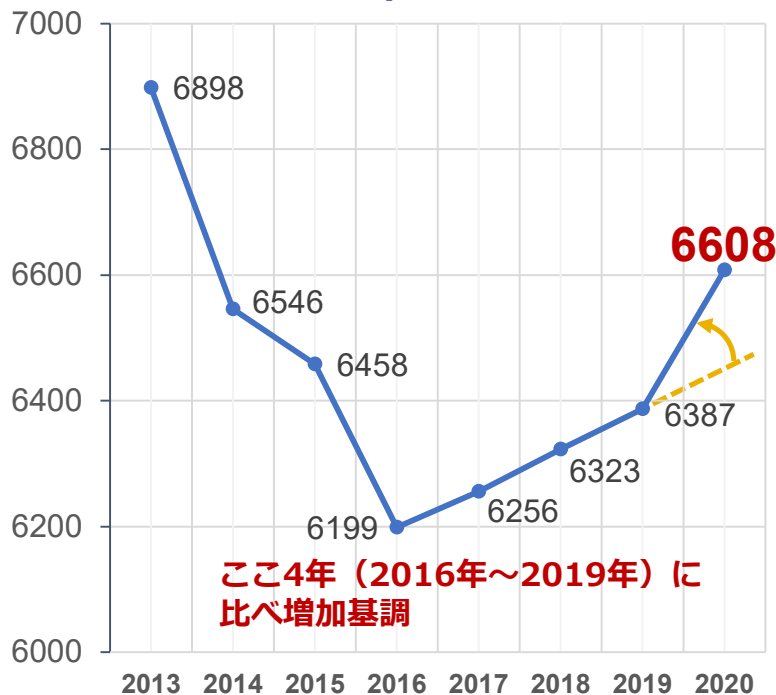


# 世界トップレベルの研究力強化

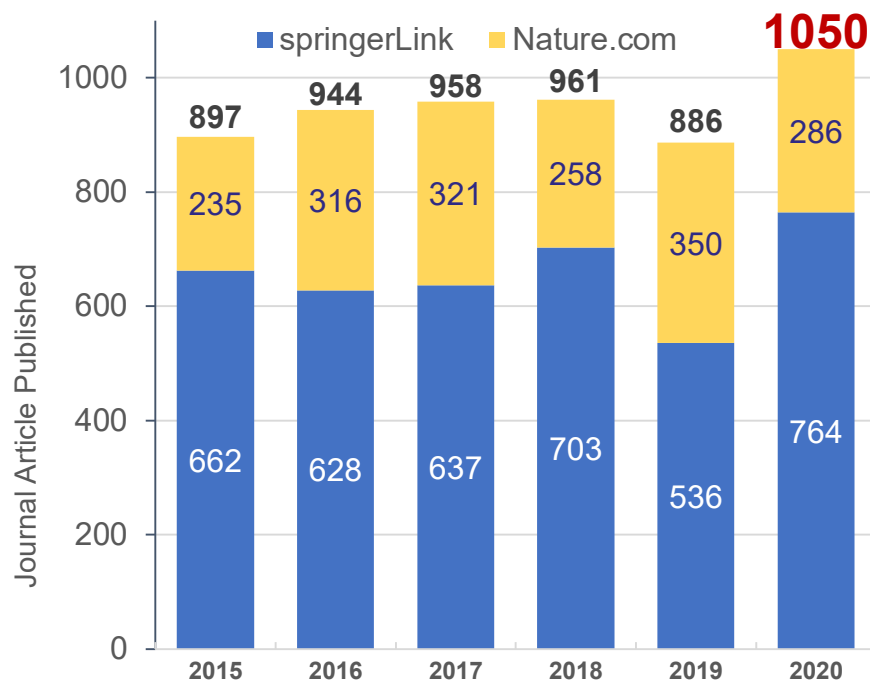
取組 IR×URAによる研究力強化支援

成果 論文数・雑誌掲載論文数が増加

Scopus論文数



Springer Nature社雑誌への本学掲載論文集



・ 昨年に比べ **19% 増**

・ 前4年（2016年～2019年）平均に比べ **12% 増**

URAによる  
支援強化

対象者 論文の量・質を分析し、ターゲットを絞った支援

支援内容 ● 英語論文作成支援 ● 雑誌掲載費用支援

# 新たな産学共創のための機能強化

## 取組 共創の司令塔である共創機構による支援を拡充

- ▶ 部局研究室のドアノック訪問により、積極的な支援を実施
  - 研究シーズの掘り起こし
  - 知的財産戦略（出願、権利化等）の強化
  - 大学発ベンチャー起業支援

共創機構分室を  
複数設置

研究現場に近いところに  
共創コーディネーターが常駐

- 知財担当
- 産学共創担当
- ベンチャー創出支援担当





# 新たな産学共創のための機能強化

## 取組

社会創造に貢献する研究の推進  
ELSIセンターの活動を通じた社会との共創の高度化

全国に先駆けたELSI総合研究拠点  
「社会技術共創研究センター」  
(ELSIセンター) 設置 (2020年4月)



新規科学技術の発展を最大限に活かすために、  
ELSIに関する活動を全学展開

総合研究

実践研究

協働形成

ELSI人材の育成

## 成果 ELSIの視点が研究の社会実装促進に貢献

全国で阪大が  
唯一の採択！

### ▶ 大型研究公募に参画し、研究費獲得に貢献

- 文部科学省「人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト」採択に貢献
- JST 戦略的創造研究推進事業 (CREST) 採択に貢献

### ▶ 企業との共同研究・受託研究の実施

- (株)メルカリ「株式会社メルカリの研究開発と社会実装を事例とした実践的ELSI研究」
- (株)電通「データビジネスのELSI領域における共創研究とカリキュラム構築」

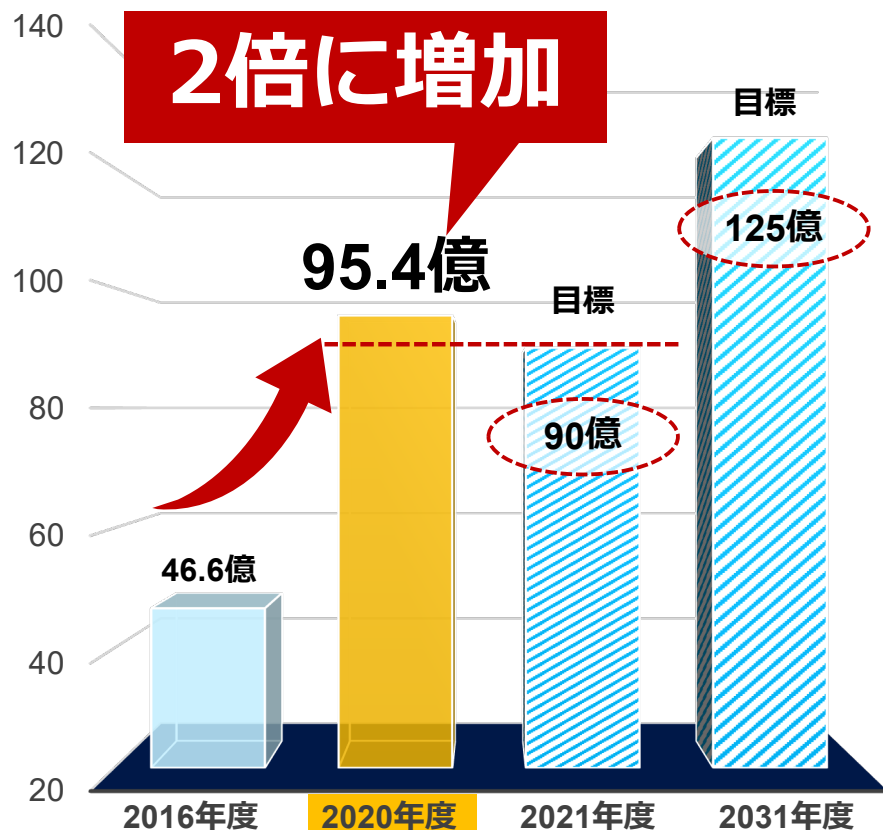
# 新たな産学共創のための機能強化

成果

共同研究の大幅な拡大

## 共同研究受入額

目標：2021年度→90億円  
2031年度→125億円



共同研究受入額・件数

国内第2位

大型共同研究受入額

1,000万円以上

国内第1位

(3年連続)

※2019年度実績

※出典 文部科学省

「令和元年度大学等における産学連携等実施状況」

# 新たな産学共創のための機能強化

取組

知的財産戦略の強化

成果

知的財産ライセンス

▶件数 204件 (2016) → **310**件 (2020)

▶実施等収入 2.2 億円(2016) → **6.4** 億円 (2020)

大学発ベンチャー

80社 (2016) → **168**社 (2020) **国内3位**

取組

国際産学共創の推進

成果

海外企業との共同研究等

16件 (2016) → **33**件 (2020) **2倍に増加**

国際特許出願件数

**世界15位** (教育機関) **国内2位** (2020)





# 新たな産学共創のための機能強化

## 未来社会共創コンソーシアム立ち上げ（2020年4月）

社会課題や将来構想について産業界と大阪大学が探索、検討し、解決策を探る

産学官連携オフィス(窓口機能)

全学体制で将来の  
社会課題を探索・検討

解決すべき  
課題

未来社会像

解決すべき  
課題

(Make the future!)

解決すべき課題の特定

大学側相談員

企業相談者

議論

Step 0, Step 1



OSAKA UNIVERSITY

医歯薬生命系戦略会議

人文社会科学系戦略会議

理工情報系戦略会議



研究者



相談員

Step 2

大型共同研究

Step 3

プロジェクト化

共創PJ検討会

- ・ 相談員・研究者との解決手段構築
- ・ 共創プロジェクト案設定
- ・ 連携研究者候補・企業等の紹介

各部局注目知財  
注目教員

各部局  
技術シーズ

阪大発  
ベンチャーシーズ

国・省庁の動き  
社会ニーズ

# 未来社会共創コンソーシアム

# 将来の礎となる大阪大学（OU）マスタープラン策定

## 社会との共創による 「生きがいを育む社会」の創造

個々人が社会で活躍できる寿命  
（社会寿命）を延伸させ、  
あらゆる世代がその多様性を  
生かすことで社会を支え、  
豊かで幸福な人生をすべての人が  
享受できる社会を創造する  
「真のオピニオンリーダー」になる。

▶そのための中長期の一貫した大学経営指針として  
**OUマスタープラン**を策定



**ご清聴ありがとうございました**